

「新製品EVOLT（エボルト）発売お披露目式」開催のお知らせ ～世界初のフル電動ラフテレーンクレーンでカーボンネットゼロ社会を実現～

株式会社タダノ（本社：香川県高松市、代表取締役社長：氏家俊明）は、12月6日（水）に世界初となるフル電動ラフテレーンクレーン「EVOLT eGR-250N」のお披露目式を開催しました。



「EVOLT eGR-250N」は、日本国内で最も台数が多く、汎用性の高い吊上げ性能25tクラスのラフテレーンクレーンの電動化を実現した製品で、バッテリーを動力源としてモータ駆動により走行、クレーン作業を可能とします。電動化することでこれまで走行、クレーン作業で発生していたCO2排出をゼロにし、当社が掲げる製品における長期環境目標の実現へ近づけます。



eGR-250N

※ラフテレーンクレーンとは（Rough Terrain Crane）

一つの運転席で、走行とクレーンの操作が行える自走式クレーン。狭隘地での機動性に優れ、コンパクトさと小回り性を活かし、都市型工事において最も活躍しているクレーンの一つです。

※EVOLTとは(エボルト)

EVOLUTION+VOLTAGEからなる造語です。EVOLTは、当社の電動化製品ラインナップの共通シリーズ名です。

この世界初のフル電動ラフテレーンクレーンの発売に先立ち、12月6日、香川県副知事の大山 智様、四国経済産業局長の小山 和久様をはじめ来賓の皆様、社内外の関係者およそ100名が出席のもと「新製品EVOLT(エボルト)発売お披露目式」を当社香西工場(香川県高松市香西北町)にて開催しました。



香川県副知事 大山 智様



四国経済産業局長 小山 和久様



代表取締役社長 氏家 俊明

お披露目式では、代表取締役社長の氏家 俊明が挨拶を申し上げた後、ご来賓を代表して副知事様、局長様からご祝辞を賜りました。続いて次世代車両開発部長の寺田 王彦より製品の概要を紹介し、製品のデモンストレーションをご覧いただきました。

<社長メッセージ要旨>

タダノが「国産一号機」のラフテレーンクレーンを世に送り出したのは、1970年のことでした。

半世紀あまり、本当に多くのお客様の支持をいただき、あらゆる現場で活躍してきました。

今回はじめて「フル電動」として市場投入をすることになりますが、

自動車のBEV、バッテリー式の電動車じたいは決して珍しいものではありません。

しかしながら、重いものを吊り上げるためにはどうしても重い車体が必要となるため

このカテゴリでのフル電動製品は世界で唯一、このEVOLTが初めてとなります。

国産一号機の誕生から50年の時を経て、新たな「世界一号機」を市場に送り出すことができることを、

非常に喜ばしく、また誇りに感じております。関係各位のご協力に感謝を申し上げます。

この50年だけを見れば、気候変動は間違いなく私たちの生活に影響を及ぼしてはじめています。

本日デビューする新製品を皮切りに、さらなる技術革新・製品開発を進め、

脱炭素社会の実現と地球環境の保全に貢献することは私たちの未来に向けた大きな責任・使命です。



来賓・メディア関係者の前で走行・作業のデモンストレーションも披露しました。報道関係者からは「従来のクレーンと比較して、騒音の種類も大きさもずいぶん違う印象だった」との反応が多く聞かれました。当日以降すでに複数のメディアでニュースとして報じられています。

2024年夏には、第2弾となるアメリカ・カナダ市場向けのフル電動ラフテレーンクレーン発売も予定しております。今後もタダノグループでは、2050年カーボンネットゼロの実現を目指し、さまざまな環境対応の新製品・新技術を「Tadano Green Solutions」として発信し、世の中のお役に立てればと考えております。

以上

本件に関するお問い合わせ先は

株式会社 タダノ

総務部総務グループ

TEL 087-839-5601